

第129回

近畿地方交通審議会

神戸船員部会議事録

令和元年6月28日

神戸運輸監理部

[第129回 近畿地方交通審議会 神戸船員部会議事録]

1. 日 時 令和元年6月28日(金) 15時30分から
2. 場 所 神戸運輸監理部 調停室
(神戸第2地方合同庁舎 6階)
3. 出席者
(公益委員) 羽原部会長、奥見委員、関根委員(欠)、湊委員(欠)
(労働者委員) 浦委員、白木委員(欠)、中野委員
(使用者委員) 南委員、越水委員、加藤委員(欠)
(運輸監理部) 鵜山海事振興部長、塚本海事振興部次長、
戸井海上安全環境部調整官
(事務局) 中村船員労政課長、竹内船員職業安定係長
4. 議 事
(1) 管内の雇用状況について
(2) その他
5. 閉 会

[議 事 概 要]

部会長

ただいまから、第129回近畿交通審議会神戸船員部会を開催します。
事務局から出欠状況及び資料の確認をお願いします。

海事振興部次長

本日の出欠状況ですが、今回の部会より、労働者委員として全日本海員組合関西地方支部の浦支部長、中野執行部員が御出席されております。

なお、本日、公益委員の関根委員、瀧委員、白木委員、加藤委員が所用で欠席されておりますが、全体としまして、船員部会運営規則第9条の規定により定数を満たし、有効に成立をしていることを御報告いたします。

本日の配付資料ですが、

- ・ 議事次第
- ・ 資料1 「第128回近畿地方交通審議会神戸船員部会議事録（案）」
- ・ 資料2 「第129回近畿地方交通審議会神戸船員部会資料」
- ・ 資料3 「全国版船員職業紹介実績一覧表（4月分）」
- ・ 神戸船員部会情報

資料は、以上でございます。

部会長

ありがとうございました。

それでは、議事に入らせていただきます。

まず初めに、第128回船員部会議事録の承認について、お手元に配布されております議事録を御確認ください。（案）のとおり承認してよろしいでしょうか。もし何かございましたら御指摘いただきたいと思います。

（異議なし）

部会長

続きまして、議題1。令和元年5月における管内の雇用状況等につきまして、船員労政課長から御説明をお願いいたします。

船員労政課長

それでは資料2に基づいて、5月期の船員職業紹介実績について説明いたします。
新規求人件数は26件、対前月比はマイナス18件、月間有効求人件数は103件。

新規求職件数は16件、対前月比プラス1件、月間有効求職件数は47件となりました。

次に、成立件数ですが、求人側から見た成立は8件、求職側から見た成立が5件。月間有効求人倍率は2.19倍、対前月比マイナス0.07ポイントとなりました。

前月の4月期は求人件数が大きく伸びましたが、5月期は10連休となったゴールデンウィークもあり通常ペースに戻りました。求職については、件数は通常ペースですが、甲板部12件、機関部4件と若干偏りが見受けられます。因みに新規求職者の平均年齢は45.8歳、船員未経験者が1名含まれています。

次に、失業等給付の支給状況ですが、5月末現在の受給資格者数が6名、基本手当の支給額が903,461円。就職促進給付は1件で306円となっていますが、これは昨年から問題化している毎月勤労統計調査問題に関係した雇用保険の差額支給分です。これに高齢求職者給付金が1件で304,150円が加わり、5月期の支給総額は、1,207,917円となりました。

次に、資料3に基づいて、4月期の全国の船員職業紹介実績について説明いたします。4月期における全国の新規求人件数は965件、新規求職件数が358件、成立件数は74件、有効求人倍率は季節調整値で2.67倍となりました。因みに陸上も含めた全国平均の有効求人倍率は4月期で1.63倍でしたので、依然として船員の求人倍率のほうが高い倍率で推移しています。

また、地域別の有効求人倍率を調べたところ、兵庫県が1.44倍、大阪府は1.81倍。倍率が高いところでは広島県が2.14倍、東京都が2.12倍、岡山県が2.11倍となっています。

私からの説明は以上です。（詳細説明は省略）

部会長

ありがとうございました。

ただいまの説明について、御質問、御意見等ございますでしょうか。

委員

3ページで未経験の45歳の方の説明がありましたが、どのような職種を希望されていたのですか。また6月に成立したとの報告もありましたが、採用した会社はどのようなところですか。

船員労政課長

採用した会社は神戸の求人ではありません。6月の成立になりますので、詳しくは来月御報告させていただきますが、貨物船の甲板部員だったと思います。

船員職業安定係長

鋼材運搬船です。

委員

そうですか。未経験者を採用して教育できる余裕があればいいが、なかなか難しいことなので、どこが採用したのかと思いました。

船員労政課長

どのような流れ、経緯で採用されたのか詳しくは分かりませんが、やはり人柄ではないでしょうか。

委員

わかりました。あと、4ページの成立の内訳で、2級航海の方が国交省関係の小型船に成立したとの説明がありましたが、これはどういう船ですか。

船員労政課長

会社は姫路にあります。航行区域は概ね大阪湾内で、主に港湾整備に関わる調査、測量などに使用される船舶です。また、警戒船も兼ねていると聞いています。

委員

わかりました。あともう一点。10ページの失業給付のところで、306円の追加給付の説明がありましたが、これは少し前にあった厚労省の統計問題に関係したものですか。

船員労政課長

そうです。失業保険の基礎日額が過去に遡及して見直され、差額分の支給が発生したものです。

委員

結構、影響は大きいですか。

船員労政課長

船員に関しては、今のところそれほど大きな影響はないと思います。追加給付の件数もそれほど多くありません。

委員。

わかりました。

部会長

ほかに何かございませんか。なければ次に移らせていただきます。続きまして、議題の2番目、「その他」に入らせていただきます。

皆様から何かございましたら、お願いします。

(公益委員なし)
(使用者委員なし)

委員

御報告ですが、7月2日から3日間、全国でFOC／POCキャンペーンを実施します。関西地方支部では神戸港を中心に活動します。

また7月10日、内航労使懇談会を開催します。これまで定期的に行っていますが、官労使が一堂に集い、これからの若年船員の確保等について、意見交換をしたと考えています。

委員

若干、補足させていただきます。FOC／POCキャンペーンについて、既に御存じかと思いますが、外航船の未組織船、ITF協約を締結していない船舶に対して我々がITFの立場で査察を行って、最終的にITF協約を締結していただくという活動です。

そういう状況の中で、本船側の乗船拒否、あるいは船体周りに不具合などが見受けられることがあります。その場合はPSCに対して出動要請をさせていただきますので、速やかに対応していただいて、我々の査察にご協力いただきたい。

部会長

行政から何かありますか。

海事振興部次長

特にありません。

委員

一点だけ。この船員部会では、官労使の忙しい方々が一堂に会して、1時間から1時間半の時間を割いて会議をしているので、管内の雇用状況の報告は大事だと思うが、それだけではなく、船員政策など、今、中央でも内航はかなり動きがあると思うので、そのあたりの議題が必要ではないか。

我々は中央の部会にも委員として出席しているが、種々の船員政策について、行政側から状況説明があり、それに対して意見交換等を行っている。

そういう状況であれば、地方は地方（の部会）で船員政策に関する何らかの報告があって、それに対して地方としての意見を（中央に）上げていくことも大事だと思うので、ぜひともよろしくお願ひしたい。

海事振興部次長

私どもも本省とそれほど緊密に情報のやりとりをしてというわけではないが、今、中央で行われている政策審議会の資料等はできるだけ皆さんに共有したいという思いから「部会情報」に盛り込ませていただいています。例えば、5月24日の中央の部会資料「船員のメンタルヘルスに関するアンケート調査」、その対応策、健全な船内環境作りに係る資料を配付させていただきました。

また、船員教育機関の卒業生の求人・求職状況等も入れさせていただいています。特にこの資料の中で御説明すべきところは、資料3の1ページの「船員教育機関卒業生の求人・就職状況」の括弧書きの部分です。これは女子学生の数を示しています。例えば、海上技術学校4校、海上技術短期大学校3校、計7校の卒業生369人に対して、就職欄の海上産業の枠、計333人が内航、外航、カーフェリー、旅客船などに就職していますが、その内21名が女子学生です。

次に、そのページの裏面の上のグラフには、外航、内航、カーフェリーそれぞれへの求人の延べ数が示されていますが、商船系大学、商船高専、海技大学校の折れ線グラフ以外に「推測値」とあります。これは求人側が求人票を2校、3校と重複して出すため、どうしても実際の求人数とズレが生じるので、詳細な計算方法は不明ですが、延べ数ではない実数に近い数値を「推測値」として算出しています。実際の求人数の推移はこの「推測値」で見いただけたらと思います。

補足は以上です。

部会長

状況ということで御報告いただいております。

委員

資料の関係で質問があります。最後のページの入学状況で高専の倍率が1.5倍というのは、急に下がりすぎているような気がします。このあたり何か分析をしていますか。併願ができなくなったと聞いたことがありますが、応募者数も急激に減っているような気がします。

海事振興部次長

そのあたりは確認して、次回の部会で報告させていただきます。

海事振興部次長

その他、何かございませんでしょうか。

委員

もう一点だけ。

今月13日、日本の関係船舶がホルムズ海峡で襲撃を受けたという報道がありました。JSUの関係船であり、我々も乗組員の安全に対する情報収集に努めたが、こういう問題が起きた時、乗組員の安全を第一に確保しなければいけない。それには正確な情報をいかに素早く収集するかが大切だと思う。

まさに今日、官民連絡会議の設置を国交省でも検討しているとの発表もあった。官民の情報共有とそれらの活用等は重要な事項なので、是非ともこれを進めていただくよう地方からも意見をいただければと思います。

部会長

ありがとうございました。

事故情報に関連して、昨年の台風21号の際の関空連絡橋衝突事故の報告書は出されましたか。

海上安全環境部調査官

運輸安全委員会の最初の報告が昨年12月頃にありました。その後、平成31年4月下旬に2回目の報告がなされました。海難審判はこれからだと思いますが、直近の報告は運輸安全委員会のホームページに掲載されています。直接的な原因は走錨ですが、なぜ走錨したかを突き詰めた内容になっています。

部会長

分かりました。ほかに事務局から御連絡されるような事項等ございましたらお願いします。

海事振興部次長

お手元の資料の最後に、神戸船員部会の12月までの開催日程案をお知らせしています。船員部会は原則、毎月第4金曜日に開催しており、基本的にはその方向ですが、12月だけは第3金曜日に開催させていただきたいと思っています。

もし定数を満たさない場合は柔軟に対応しますが、いかがでしょうか。

(日程調整)

部会長

ほかに特になければ、本日の部会はこれで終了します。

次回の船員部会は7月26日15:30から、同じ調停室で開催しますのでよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。